

輔仁大学日本語文学科 2008年国際シンポジウム

「文化における老い」

11月1日（土）

基調講演

中嶋隆藏(東北大学名誉教授) ▶ 儒教、仏教、道教における「老い」の問題—漢字文化圏における「老い」の問題の再検討—

論文発表

第一場

深澤徹(桃山学院大学) ▶ 老いのまなざし—歴史の〈外部〉に出ること
仁平道明(東北大学) ▶ 上代文学における「老い」

第二場

丸山隆司(藤女子大学) ▶ 老いと孝養—『竹取物語』をめぐって
頼振南(輔仁大学) ▶ 『竹取物語』における竹取翁のアイロニカルな役割

第三場

李美淑(ソウル大学) ▶ 「鏡をうち見れば、いと憎げにはあり」—『蜻蛉日記』にみる「老い」の意識—
齋藤正志(文化大学) ▶ 老女の恋の物語—伊勢・うつほ・源氏における〈文化としての老い〉—

第四場

中村祥子(輔仁大学) ▶ 父の老い—『更級日記』における老い—
内田康(慈済大学) ▶ 謡曲(能)に見る「老い」の表象—「三老女」を中心に

第五場

江漢聲(輔仁大学) ▶ 老人に関する文芸作品から
橋本和幸(ノートルダム清心女子大学) ▶ 「老い」と「成熟」—新たな文化の創造—

11月2日（日）

基調講演

朴那美(韓国祥明大学) ▶ 韓国高齢化社会における老人問題

論文発表

第一場

曾秋桂(淡江大学) ▶ 年離れた女性のコミュニティーにおける役割—張文環の文学世界と宮崎駿のアニメ世界の比較から—
横路啓子(輔仁大学) ▶ 二人の老人と近代化—呂赫若「風水」試論

第二場

彭春陽(淡江大学) ▶ 芥川文学における老いの境地
坂元さおり(輔仁大学) ▶ 「介護」と近代文学—モブ・ノリオ「介護入門」を中心に—

第三場

北川慶子(佐賀大学) ▶ 高齢期の生活変化と自立のあり方—葬送の生前契約研究から—
陳惠姿(輔仁大学) ▶ 「老人の生命体験」

第四場

吳珮珍(政治大学) ▶ 「華やぐいのちなりけり」—岡本かの子「老妓抄」にみる老い—
横路明夫(輔仁大学) ▶ 「風の歌を聴け」の一側面—〈老い〉を生きる処方箋—

座談会

中嶋隆藏 深澤徹
仁平道明 丸山隆司
北川慶子 橋本和幸 ▶ テーマ：老いの時代を考える
朴那美 李美淑

【日時】2008年11月1日(土)・2日(日)

【場所】輔仁大学野声楼谷欣庁

【主催】輔仁大学日本語文学科

【共催】教育部 国科会 輔仁大学研発処・外語学院

お問い合わせ：(02)2905-2596沈助教 051934@mail.fju.edu.tw